

第 18 回災害科学国際研究所「災害と健康」学際研究推進セミナーで発表しました (2018/12/4)

テーマ：第 18 回災害科学国際研究所「災害と健康」学際研究推進セミナー
場所：東北大学星陵キャンパス医学部 6 号館 1F カンファレンス 1 (宮城県仙台市)

12 月 4 日(火)、東北大学星陵キャンパス (宮城県仙台市) で第 18 回災害科学国際研究所「災害と健康」学際研究推進セミナーが開催されました (主催：災害科学世界トップレベル研究拠点, 「災害と科学」プロジェクトユニット)。当研究所から災害リスク研究部門の門廻充侍助教が参加し、研究発表を行いました。発表題目は下記の通りです。今後も災害科学国際研究所では各種学会・シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。

門廻充侍：東日本大震災を踏まえた津波死体系化の試みと今後の研究計画について



門廻充侍助教



会場の様子

文責：門廻充侍 (災害リスク研究部門)